

8 (5) 豊かな海作り事業 未利用海藻ほりおこし調査 (ホンダワラ)

担 当: 福本 一彦 (養殖・漁場環境室)

実施期間: 平成 24-26 年度 (予算: 1, 711 千円のうちの一部)

目的

県外市場から需要のあるホンダワラについて、県内における分布状況を把握し、本種の利用を促進する。

方法

これまでの予備調査や漁業者からの聞き取りにより、かつて本種が分布していた可能性が示された大山町中山 (図 1) および鳥取市酒津 (図 2) において、2014 年 12 月から 2015 年 3 月にかけて本種の分布状況を調査した。



図 1 調査地点

(左: 大山町中山, 右: 鳥取市酒津)

結果及び考察

表 1 に調査結果を示した。ホンダワラが認められたのは、漁港内の静音域で、かつ潮通しのよい部分に多く認められた。一方、外海では認められなかった。生殖器床は、御崎港および酒津漁港に生育するホンダワラとともに 2 月下旬には形成されていた。また、逢坂港でも 3 月中旬には生殖器床が形成されていた。

食用価値が高いとされているのは、柔らかい品質のものであることから、食用分の収穫は、全長や生殖器床の形成状況を指標とし、生殖器床が形成される直前に行うのがよいと考えられた。

表 1 ホンダワラ分布調査結果

調査日	調査場所	ホンダワラの有無	生殖器床の有無	その他
2014/12/25	御崎港	○	×	ヤツマタモク
2015/ 1/ 5	酒津漁港沖防波堤内側	○	×	ヤツマタモク, ジョロモク, アカモク
2/12	御崎港	○	×	調査せず
2/24	御崎港	○	○	〃
	逢坂港	×	-	ジョロモク, ウミトラノオ
	岡海岸	×	-	アカモク, ヨレモク
	長野海岸	×	-	ジョロモク, トゲモク, アカモク, フシスジモク
2/26	酒津漁港沖防波堤内側	○	○	ヤツマタモク, ジョロモク, アカモク
3/17	御崎港	○	○	ヤツマタモク
	逢坂港	○	○	ジョロモク

成果および課題

中山地区では、今年度から試験的な収穫が開始され、新たな収入源として期待される。一方、本種の生息は漁港入口周辺の静穏域かつ潮通しのよい地点に限られるため、今後、増殖手法の検討や資源管理の指導が必要である。

酒津地区では、分布調査区域を拡大し、分布状況を把握した上で、利用促進を図っていく必要がある。